

Catch the WAVES!

新潟県立佐渡中等教育学校
学校だより 令和4年度4月号②
HP:<http://www.sado-ss.nein.ed.jp>

佐渡中等教育学校 第15回 入学式

令和4年4月5日(火)、第15回入学式が挙行され、15期生39人を迎え入れました。新入生はこの3月まで小学生でしたので、まだ、初々しく、真新しい制服が体に馴染むのはこれからという生徒も多くいました。担任の先生から一人一人呼名され、白藤恵一校長より入学が許可されました。コロナウイルスの全国的な影響により、新入生、保護者の皆様、学校職員のみでの式となりましたが、新入生全員が決意を新たに式に臨みました。その後、新入生代表より「誓いの言葉」がありました。最後に写真撮影を行い、終始和やかな雰囲気で行うことができました。



校長式辞 白藤 恵一 校長

皆さんの入学に合わせるかのように、暖かい春の光に桜の蕾も膨らんで、生命(いのち)の息吹きみなぎる希望の季節、春本番となりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、制限や制約の中、保護者の皆様の御出席のもと、令和4年度新潟県立佐渡中等教育学校の入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、心から厚く御礼申し上げます。

ただ今入学を許可しました39名の新入生の皆さん、入学おめでとう。私たちは皆さんが入学してくるのを楽しみに待っておりました。また、この良き日を迎えられました保護者の皆様にはお子様の御入学を心からお喜び申し上げます。

今年創立15周年を迎える新潟県立佐渡中等教育学校の生徒として、6年間の学校生活の出発点に立った皆さんの入学を心から歓迎いたします。

本校は開校以来「CATCH THE WAVES! 夢を叶える波をつかめ」を校是に、「佐渡の歴史と文化に誇りを持ち、豊かな知性と人間性を身に付け、世界的視野で活躍できる人の育成」を教育目標として掲げてきました。

学校では、自分を向上させる英知、将来の夢を高く持つための大きな志、これからの社会をたくましく生きていくための活力、様々なものに触れて心を動かす感受性、この四つをしっかりとつむことができるよう教育活動を進めています。また、優れた歴史や文化、美しい自然に恵まれたこの生まれ育った佐渡の地において、郷土を愛し、地域社会に貢献する態度や資質を育てることをねらいとして「総合的な学習の時間」では、地域探究「佐渡未来学」と、スクールカルチャーである「能楽」を設定し、地域の皆様から御協力いただき、全校生徒で学習に取り組んでいます。

本校の教育活動をとおして勉強はもちろん、学校行事や部活動にも積極的に取り組み、人として必要な資質である、

- ①人と関わり協働して物事を進めていくためのコミュニケーション能力や表現力、
- ②失敗を恐れたり気にしたりせず何度でもチャレンジし続けること、
- ③物事を明るく前向きに捉え自分を大切にすること、そして、
- ④相手の立場に立って考え行動して人を思いやる気持ちを持つことを身に付けてほしいと思います。

さて新入生の皆さん、保護者の皆様、地元中学ではなく、本校6年間にわたる中高一貫教育での学びを選んだ目的は何ですか。

きっと多くの皆さんが親子でじっくりと話し合い、将来を見据えて、夢の実現のためには勉強すること、学ぶことが大切であると、本校入学を選んだことと信じています。先取り学習や異年齢集団による深い学びにより本校の魅力、特色を踏まえ、6年間かけて御期待に添えるよう全力を尽くしてまいりますので、日々の授業と家庭学習を大切に、努力

してください。「継続は力なり」です。

また、私たちはいじめを許しません。いじめを生まないよう違いを認め合い、他者を思いやれる人になってください。しかし、いじめは起こりうるものとして見逃さず、毅然と対応してまいります。

新入生の皆さん、いよいよ今日から佐渡中等生としての活動が始まります。佐渡中等教育学校は、ユネスコスクールとして持続可能な社会の構築をめざし、環境保護、人権や民主主義、国際的な交流、異文化理解の取組として様々な体験活動を行っています。そして、その取組の基盤に地元佐渡のことを深く理解し、誇りと自信を持つという郷土愛がなければならぬと考えます。これから皆さんがグローバル社会に羽ばたく時、自分がどこで生まれ育ちどう生きてきたか、自分とはどういう人間か、今後どう生きていくかと言った、自分の根っこ、価値観が何であるかをしっかり相手に伝えることができなければ世界では通用しません。

自分の足元を深く掘り下げれば、外に向けて発信できるものが必ず見つかります。それを更に磨けば世界に発信できるものになります。

また、社会において、予測できない、答えのない課題解決のために、今後の学校生活において、主体的に学び、深く考え、時には自ら実際その場へ足を運び見聞を広げ、自分の五感を使った体験活動に取り組み探究することで、最適解を見つける力を身に付けてほしいと考えます。さらに、SDGsを意識した地域課題に取り組み、将来幾多の困難にも対応できるための術(すべ)を身に付けるために、深く掘り下げて学ぶ「探究学習」を強化していきます

さて、保護者の皆様に一言お願い申し上げます。御子様充実した学校生活を送り、様々な能力を伸長、開花させ、真に自立した大人として育っていくためには、学校と家庭が連携し協力して取り組むことが不可欠であります。御家庭でも時には厳しく、時には優しく、前向きな気持ちを育む御指導をお願いします。

学校としましては、保護者の皆様と連携して教職員一同「生徒第一」を合い言葉に教育にあたります。具体的には、多様性を尊重して様々な価値観を認め合う雰囲気を作り、かけがえのない命の大切さやいじめ見逃しゼロを訴え、他者への思いやりや自己肯定感の醸成等に努めます。そうすることにより、安全・安心な学校づくりをめざし、誰一人取り残すことなく親身に丁寧に生徒がたくましく成長できるよう支援してまいります。

結びに、新入生の皆さんが、本日の初心を忘れず、将来の夢をかなえる波をしっかりとつかんで、目の前に広がる大海原へと力強く自分の船を漕ぎ出すことを祈念し、式辞といたします。

新入生代表 「誓いの言葉」

暖かい日差しに包まれ、春の訪れを感じるこの良き日に、私たち39名は、憧れていた制服に袖を通し、佐渡中等教育学校に入学することができました。本日は私たち新入生のために、このような素晴らしい入学式を挙行していただき、新入生を代表して心より御礼申し上げます。

さて、世界に目を向けると、戦争をしている国があります。そのことを考えると、私たちは勉強ができることに感謝しなければならないと思います。また、これからの未来のことを考えるとSDGsの取り組みにも関心をもたなければならないと思います。私たちに何ができるのか、考えていく必要があると思います。

私たちは、今日から新たな生活への第一歩を踏み出します。友達との出会いや、新しく始まる勉強、部活動など、これからの学校生活のことを考えると、希望と期待で胸がいっぱいです。その一方で、友達と仲良くできるだろうか、授業についていけるのだろうかなど、新しい環境に対する不安もあります。時には、辛いこともあるかもしれませんが、そのときは、先生方、先輩の皆さんにアドバイスをいただき、仲間と協力して乗り越えていきます。そして、一日一日を大切に、悔いのない充実した学校生活を送りたいと思います。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、先輩の皆さん、時には厳しく、時には温かく御指導くださりませう、よろしく申し上げます。また、お忙しい中、私たちのために入学式にお越しいただいた皆様、私たちが成長する姿を温かく見守ってください。私たち新入生は、お世話になる方々への感謝の気持ちを忘れず、佐渡中等教育学校の生徒としての自覚をもち、夢に向かって成長していくことを誓います。